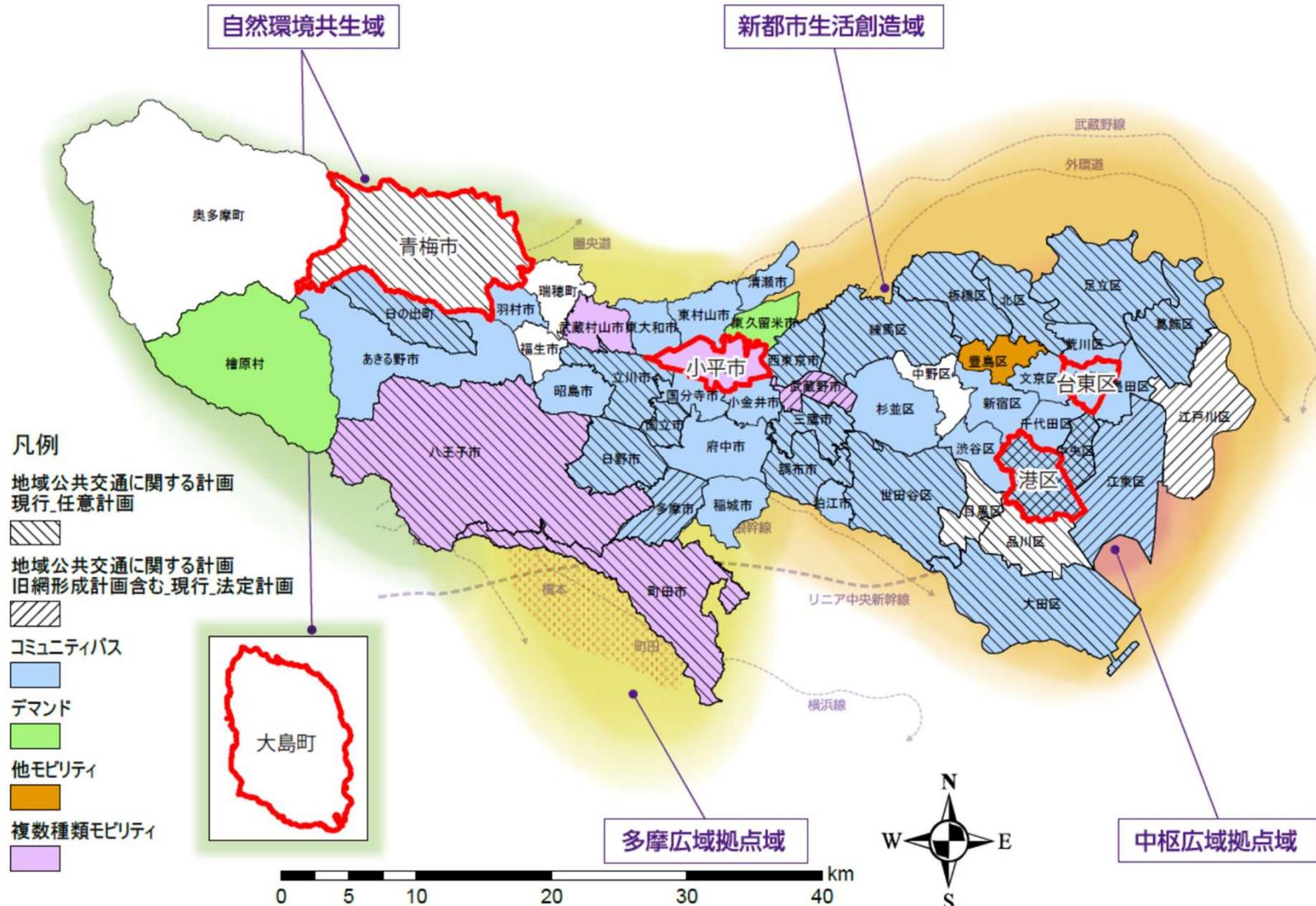

区市町村の現況と取組・支援の視点

区市町村における取組一覧

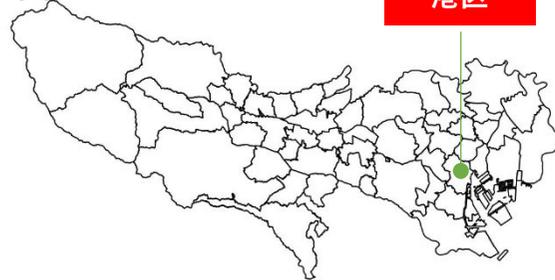
区市町村の現況と取組・支援の視点

- 地域特性にそれぞれに応じた課題や取組・支援の視点を検討するため、地域区分や取組の状況が異なる港区・台東区・小平市・青梅市・大島町にヒアリングを実施した。



ヒアリング対象区市町の現況 | 港区

位置図



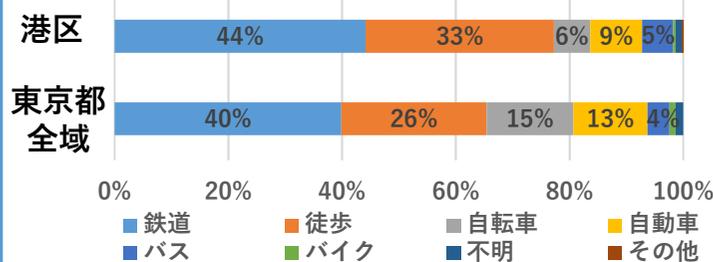
港区

面積 : 20.37km²
 居住人口 : 259,036人 (R3.1 住民基本台帳)
 人口密度 : 12,717 (人/km²)
 高齢化率 : 17.1% (44,186人 : R3.1 住民基本台帳 (65歳以上))

主な公共交通

- ・バス (都営、東急・コミュニティバス)
- ・タクシー
- ・鉄道 (JR・都営・東京メトロ等)
- ・旅客船 (東海汽船、東京都観光汽船等)

代表交通手段分担率 (H30・東京都市圏PT調査)



現状の主な施策

- ・ コミュニティバス
ちいばす (2004～) (株)フジエクスプレス
台場シャトルバス(2012.4～) (株)kmモビリティサービス
- ・ コミュニティサイクル(2014.10～) (株)ドコモ・バイクシェア
- ・ 東京都臨海部地域公共交通計画 (2021.3改定)
- ・ 港区総合交通戦略 (2017.9)

現状の課題

- ①地域公共交通全体について
 - ・ 地域公共交通の役割分担の考え方の必要性
⇒ 公民の役割分担の整理、公共が担保すべきサービスレベルの整理等
- ②コミュニティサイクルについて
 - ・ シェアリングのポートの不足
⇒ 170箇所の設置を目標に取り組んでいるが、まだ達していない状況
⇒ 特に住居地域における整備推進方策の検討が必要
- ③コミュニティバスについて
 - ・ コミュニティバスの隣接区をまたいだ利便性の向上の必要性
⇒ 現在、渋谷区と一部のバス停を共有。乗り継ぎの改善の必要性等
 - ・ コミュニティバスの事業性改善の必要性
⇒ 運賃の変更を含めた収支改善の検討等
- ④MaaSについて
 - ・ MaaS推進に係る関係者との調整の必要性
⇒ 関係自治体・事業者の招集の際に先導する主体が必要

参考) お台場レインボバス路線図

